

介護ベッド ここが危ない!!

あなたの介護ベッドに危険なすき間が潜んでいる?



ご注意!

誤使用や想定外の使い方により介護ベッドの事故が増加しています。

今すぐ確認と対策を!

発行

医療・介護ベッド安全普及協議会

介護ベッドまわりの事故の現状

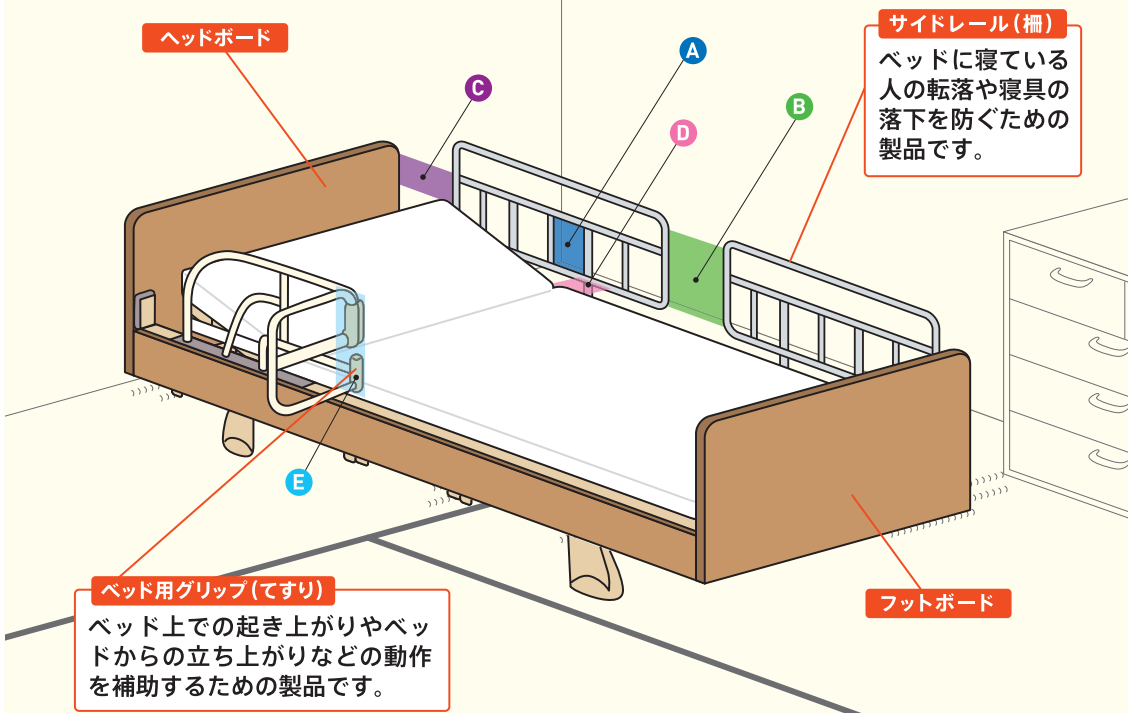
ここが危ない！

近年、介護ベッド関連の死亡・重傷事故が増えています。事故の多くは危険な部分があるかどうかの確認と正しい使い方によって未然に防ぐことができます。

サイドレール関連

36件

- A サイドレール内のすき間
- B サイドレールとサイドレールのすき間
- C サイドレールとボードのすき間
- D サイドレールとマットのすき間
- E ベッド用グリップの固定レバー など



サイドレール(柵)

ベッドに寝ている人の転落や寝具の落下を防ぐための製品です。

ヘッドボード

フットボード

ベッド用グリップ(てすり)

ベッド上での起き上がりやベッドからの立ち上がりなどの動作を補助するための製品です。

■2007年5月14日～2010年8月31日集計

消費生活用製品安全法に基づく重大事故として報告されたもの

※重大事故：死亡、負傷または疾病であってこれらの治療に要する期間が30日以上等

■経済産業省による調査の結果、36件中22件が「製品に起因しない事故」と判断されています。

こんな事故が起きています

サイドレール・ベッド用グリップのすき間の事故

15件

サイドレールの中に頭、腕や足が入り重傷・死亡した。

- 頭・首が入った
- 腕が入った
- 足が入った
- 挟んだ状態で「起き上がろうとした」「体をねじった」



5件

サイドレールとサイドレールのすき間に首がはさまり重傷・死亡した。

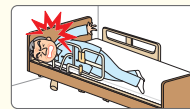
- ベッドとサイドレールのメーカーが違う
- サイドレールとベッド(マットレス)のすき間



4件

サイドレールとボードのすき間に首がはさまり重傷・死亡した。

- ベッド用グリップを逆に取り付けていた。



3件

サイドレールとマットやベッドフレームの間にはさまり重傷をおった。

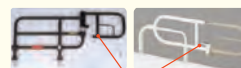
- 90cm幅対応のベッドに83cm幅のマットを使用していた
- ベッドとサイドレールのメーカーが違う



ベッド用グリップの固定ノブ・レバー関連事故

3件

着衣がベッド用グリップの固定レバーに引っかかり窒息により死亡。



この部分に引っかかる

3件 その他

3件

首振りの固定レバーが外れ、転倒・骨折した。

- 固定されておらず首振り部が急に動き、転倒・骨折した。



この部分の未固定によるもの



その他介護ベッドの事故

13件

ベッド本体と他の物とのすき間にはさまれた事故、ベッドのフレーム内にはさまれた事故。

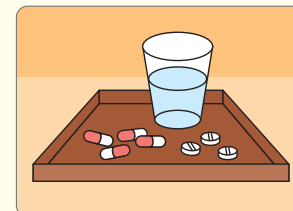
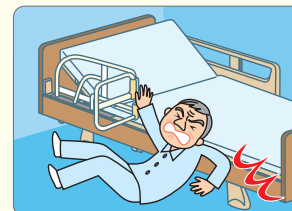
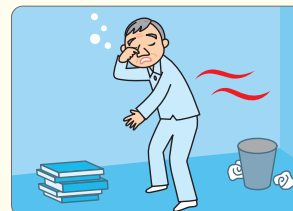


事故多発時間帯

夜10時～朝8時



事故の多くは夜から朝に起きています。



身体や意識がはっきりしていない時間帯にトイレに行こうとして、ベッドからの転落や移動中の転倒事故が多発しています。特に睡眠薬を服用している場合は身体状況が不安定になり転倒しやすくなります。(医師の指導を守ってください)